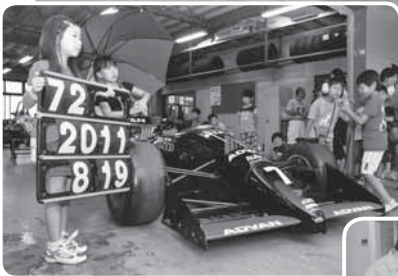


夏休みにドキドキ体験



訓練用の水消火器で一斉放水!(赤坂消防署公津分署)



カスタムカーの前で記念撮影
(日本自動車大学校)



鋭い嗅覚で薬物を発見
(麻薬探知犬訓練センター)

公共施設などの見学を通じて、地元
に親しみを感じてもらおうと8月19日
「親子市内施設見学会」が開催されまし
た。15組34人の小学生親子が見学したの
は、赤坂消防署公津分署・麻薬探知犬訓
練センター・三里塚コミュニティセン
ター・日本自動車大学校(NATS)。麻
薬探知犬訓練センターでは、子どもたち
が持つバッグの中から薬物を探すデモン
ストレーションが行われ、見事におい
をかぎ分けた麻薬探知犬に、参加者から
は盛大な拍手と歓声が。参加した小学生
は「麻薬探知犬は、においだけを頼りに
薬物を見つけるなんてすごい」と話して
いました。

▶ 成田ブランドの構築を目指して⑤

あんぱん開発中!

現在、成田ブランド推進プロジェクトチームは、
ご当地グルメを通じて、より多くの人に“成田”をPR
できるよう、「あんぱん」の開発を進めています。

誰もが気軽に味わうことができ、地元の食材を
使って作れるもので、空港と地域が一体となった
新たな魅力をPRできるのは、和と洋の要素が一
体化した「あんぱん」しかない。そんなプロジェクト
チームの熱い思いから、開発がスタートしました。

市内の事業者の方などからアドバイスを受けな
がら、地元で愛され、今まで成田を知らなかった
人も魅了するような「あんぱん」を目指して、引き続
き開発に取り組んでいます。

※くわしくは企画政策課(☎20-1500)へ。



小泉市長が開発を視察!

印旛沼自然観察会

いつもと違う視点から



目を凝らして観察

屋形船に乗って印旛沼を観察しようと8月17日、「印旛沼自然観察会」が行われました。夏休み真っただ中ということもあり、普段は見るできない水上からの風景を楽しもうと、多くの親子連れが参加。子どもたちは水面を滑空する鳥を見つけて歓声を上げたり、群生する水草を双眼鏡で観察したりして身近な自然を満喫していました。

市史講座

ふるさとの歴史をひも解く



大塚初重さん

「成田の地名と歴史－大字別地域の事典－」の刊行を記念して8月21日、国際文化会館で「市史講座」が行われました。事典の編集委員長を務めた明治大学名誉教授の大塚初重さんは、「台地はかたる」というテーマで、市内で発見された土器や石器の歴史的価値を熱く語り、直木賞作家の五木寛之さんは、自らの体験を踏まえながら、ふるさとと人の心との関わりについて講演。会場に集まった855人の聴衆は、時折メモを取りながら、熱心に聞き入っていました。



五木寛之さん

成田ふるさとまつり2011

ニュータウンは“熱かった”



60年代のロックに観客はノリノリ



通りを埋め尽くす人

ニュータウン地区の夏の恒例イベント「成田ふるさとまつり2011」が8月20日・21日、ボンベルタ成田店周辺で開催されました。連日続いていた暑さがうそのように気温が下がった2日間でしたが、山車に御輿、踊りに歌とさまざまな催しが行われ、訪れた人たちは祭りの熱気に包まれました。

子ども国際文化交流教室

英会話を楽しもう



紙人形作りを楽しみながら

子どもたちに英語でコミュニケーションを楽しんでもらおうと8月16日、成田観光館で「子ども国際文化交流教室」が開催されました。参加した6人の小学生は、簡単な英語のレクチャーを受けた後、外国人との会話に挑戦。ときどき言葉に詰まりながらも、一緒に紙人形を作ったり、琴の弾き方を習ったりしながら、“小さな国際交流”を楽しんでいました。